

迫力ある舞台を堪能

太陽の塔松浦公演

本市星鹿町出身の劇作家岡部耕大こうだいさんが脚本・演出を手掛けた舞台劇「太陽の塔」の公演が7月1日、文化会館で行われました。

この作品は、岡本太郎さんの生誕100年にちなみ、岡本さんのドラマティックな生涯と1970年の万博のシンボル制作にかける情熱が描かれています。時代を象徴するたくさんの歌やバンド演奏もあり、この日会場に集まった市民など約240人は、迫力ある舞台に見入っていました。



親子の力で化石を発掘

上志佐小学校日曜参観

上志佐小学校（福田満校長）が7月3日、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の一環として日曜参観を実施し、全校児童と地元の人たちが触れ合い学習を楽しみました。

この日は、講師として参加した地元のお年寄りや有識者からの指導を受け、各学年に分かれて化石の発掘や竹とんぼ作り、郷土料理作りや製茶とお茶の入れ方講習に取り組みました。化石の発掘では、志佐川中流の横辺田橋と田ノ平橋付近で発掘作業を行い、参加した児童とその保護者は、金槌とたがねを使って岩を砕いてはその破片をじっくり眺め、化石が隠れてないか確認。この日は、二枚貝や巻貝、タニシなどの化石を見つけてことができました。



あいさつの町 今福

今福地区青少年健全育成会議

今福地区青少年健全育成会議（三木康彦会長）が7月1日、今福町内の小中学校、駅、今福橋付近で、子どもたちの登校時間に合わせてあいさつ・声掛け運動を行いました。

この運動は「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、地域全体で子どもたちを見守り健全に育てる環境を作ろうと、毎月1日を「あいさつの町 今福の日」と設定し、地元の婦人会や長寿会、商工青年部やPTAなどの協力を受けて実施されています。

運動に参加している関係者の皆さんは「この運動が町の隅々まで広がり、あいさつや声を掛けることによって子どもたちに安心感を与え、地域と子どもたちとのつながりがさらに深まるように取り組んでいきたい」と話していました。



親子でお魚料理教室

調川小学校

親子お魚料理教室が7月1日、調川小学校で開催され、同校5年生19人が保護者と魚料理に挑戦しました。

この教室は、魚食普及と地産地消を目的に（社）松浦魚市場協会（城島正彦会長）が毎年行っているもので、今年は市内小・中・高校を中心に20回の開催を予定しています。

この日挑戦した料理は、アジの刺し身、アジのムニエルのほかに、西日本魚市（株）が福岡の中村学園大学の協力を得て開発した骨ごと食べられるフライを使ったあんかけなど5品。児童はぎこちない手つきながらも保護者などからのアドバイスを受けながら、一生懸命魚をさばっていました。



子どもの健やかな成長を応援

近江鍛工が地域の学校に寄付

近江鍛工（坂口康一社長）が7月7日、御厨中学校区の小中学校5校に寄付を行いました。

同社は、平成17年から市立図書館などに図書の購入費を寄付。平成20年から同社長崎工場が、地域貢献の一環として、子どもたちの学習に役立ててもらうために地域内の小中学校に寄付を行っています。

この日は、同社長崎工場の太田富穂副工場長が市役所を訪れ、各小中学校の校長に寄付を手渡しました。

太田副工場長は「地域の清掃や学校への寄付といった地域貢献活動などを通して、地域に根付いた企業であり続けたいと思っています。お渡しした寄付は、子どもたちのために図書や運動用具などの購入に役立ててください」と話していました。



地域ので美しい砂浜に

大浜東自治会

志佐町の大浜東自治会（白波育司会長）が7月10日、大浜海岸の清掃を行いました。

同海岸は、公共下水道終末処理場（松浦水きよら館）の建設工事のため、しばらくの間利用できませんでしたが、平成20年4月に処理施設の供用が開始し、再び海水浴などの利用ができるようになったため、昨年同自治会が清掃活動に取り組んでいます。

この日も、大浜の美しい砂浜が大勢の人で賑わうようにと、地元の住民や企業および田代少年剣道クラブも作業に加わるなど、約50人が浜辺の清掃に汗を流しました。



浜辺をきれいに地域へ貢献

平戸法人会松浦支部

平戸法人会松浦支部（小松英史支部長）が7月6日、今福町のぎぎが浜海水浴場の清掃を行いました。

同支部は、地域への社会貢献の一環として毎年清掃活動を実施。今年も、松浦東高校の閉校に伴い、同校が毎年続けてきた同海水浴場の清掃を引き継いで実施しました。

この日はあいにくの雨となりましたが、清掃に参加した会員48人は合羽などを着用し、砂浜のごみや流木を拾ったり海岸や駐車場周辺の草を刈ったり、約1時間半かけて同海水浴場をきれいにしました。



パントマイムに挑戦

御厨地区青少年健全育成会議

御厨地区青少年健全育成会議（西崎光会長）主催のパントマイム公演「みほの不思議な世界へ行こう」が7月3日、御厨小学校体育館で開催されました。

この日は、国内外でパントマイムを披露しているMIHO（村田美穂）さんが、児童を舞台に上げてパントマイムの指導をしたり、風船で動物などを作る風船アートを披露したりして会場を訪れた約240人を沸かせました。

パントマイムの「見えない壁」に挑戦した同小6年生の加椎偉大君は「初めてパントマイムをしました。舞台上、実際にはない壁をあるように表現するのが難しかったけど、楽しくできました」と話していました。

